

五峡の子

学校だより 5月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和4年5月2日(月)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

学ぶ意欲の種火



校長 出井 玲子

今日は夏も近づく八十八夜、校庭の桜もすっかり緑葉一色になりました。

先月20日(水)の「1年生を迎える会」は、コロナ禍の中、2年生から6年生までの発表は動画を教室で観る形式で行いました。1年生へのお祝いの気持ちと学校の様子を分かりやすく伝えるための子供たちの工夫に、大変驚き感心しました。最後に1年生は6年生が作ってくれたお祝いのメダルを嬉しそうに受け取っていました。28日(金)には、3月末で異動・昇任した教職員の離任式がありました。代表児童が声を震わせて感謝の気持ちを伝える姿に胸が熱くなりました。出会いと別れの経験も成長につながると感じます。

本校は、今年度も昨年度に引き続いて「学びに向かう力の育成」をテーマに、校内研究を行ってまいります。学校では「各種学力調査の分析を基にした個別最適な学び」の追究を進めますが、並行してご家庭では、家庭学習の一環として、まず「読書」～家読(うちどく)～にご協力をいただければと思います。明日からの連休後半に「本の読み聞かせ」や「家族で読んだ本の感想を話し合う」などに取り組んでみてはいかがでしょうか。

フリーライターで大学講師の朝比奈なを氏は、子供たちの学びの源として「『分かること』と『他者が丁寧に向き合ってくれること』」を挙げています。私は、このことが「学ぶ意欲の種火」になるのではないかと考えます。学校・家庭それぞれからのアプローチが種火を大きく膨らませます。

4月に花開いた桜は、新緑の葉に降り注ぐ日の光、梅雨の雨、夏の虫達のついでみ、秋の木枯らし、そして、冬の寒気など、たくさんの経験を乗り越えて、また新しい春を迎えます。

「花開くための目に見えない準備や努力」に寄り添う五峡小でありたいと思います。

今月末、5月28日(土)の「運動会」では、各学年や学級が団結する姿をお示しできるよう準備を進めております。今年度もご来賓の皆様にお越しいただくことができず、保護者の皆様のご参観も入れ替え制にさせていただくこととなりますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。